

令和7年度

寄宿舎のしおり



寄宿舎のあゆみ

上田養護学校寄宿舎は、開校と同時に開舎いたしました。男子棟として「たいよう棟」「あおぞら棟」、女子棟として「わかくさ棟」、「そよかぜ棟」の4棟で構成されてきました。

当時は1部屋5名定員で、110名の児童・生徒が寄宿舎を利用しながら学校に通っていました。東信地区の養護学校として、佐久・小諸方面からの児童・生徒も多く、遠方で通学が困難な児童・生徒が寄宿舎を利用していました。

その後、小諸養護学校が開校し、スクールバスが増台になり、遠方から通学するための寄宿舎から、個々の自立や社会参加を目標とした寄宿舎に変わってきました。

現在は男子棟として「たいよう棟」「あおぞら棟」女子棟として「そよかぜ棟」の3棟で構成されています。自立に向けて個々のニーズに合わせた生活支援を行っています。

長野県上田養護学校 寄宿舎

〒 386-0153 長野県上田市岩下 462-1

TEL 0268-35-2580(学校代表)

0268-75-6165(寄宿舎直通)

FAX 0268-34-5045

上田養護学校ホームページ

<http://www.nagano-c.ed.jp/uedayogo/>



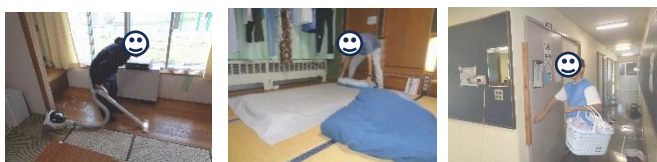
寄宿舎の目標

寄宿舎生活を自立に向けた力を育てる重要な学びの場として考え、一人ひとりの特性や教育的ニーズに応じた支援を行い、生き生きと主体的に生活できる力を育てます。

安全で安心できる環境を整え、個別の指導計画に基づいた適切な支援を実践します。基本的な生活スキルの向上と自立に向けたよりよい成長と発達を促します。

生活支援の目標

基本的な生活習慣の確立



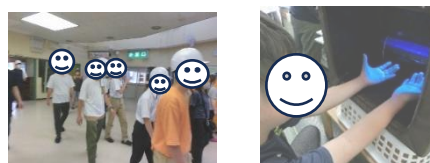
社会生活力の拡大



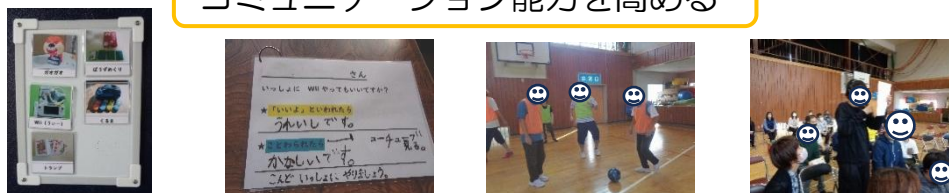
豊かな人間関係と生き生きとした生活作り



健康で安全に配慮した生活



コミュニケーション能力を高める



本校寄宿舎の概要

- ・ 本校は、寄宿舎が設置されている特別支援学校です。
- ・ 本校寄宿舎は、今年度26名（男子19名、女子7名／中学部6名、高等部20名）の舎生が生活しています。

入舎するにあたって

- ・ 寄宿舎の入舎期間は1年間で、毎年次年度の通学方法について見直しをします。
- ・ 寄宿舎では、食事代（1食分：朝食370円・夕食480円と寄宿舎費年間18,800円）がかかります。
- ・ 週末や長期休み、祝日は、寄宿舎の利用ができません。

寄宿舎体験・見学について

- ・ 1年を通しての寄宿舎見学に加え、年2回の寄宿舎体験を実施して、寄宿舎がどんなところかを知ってもらう機会を設けています。寄宿舎を利用してみたいと考えている場合は、必ず体験を行っていただきます。

課 日

全体行事の様子

6:30	起床
	身支度・洗面・清掃
7:30	配ぜん・朝食
	歯磨き・登校準備
8:40	高等部生登校
8:55	小・中学部生登校
15:00	下校
	活動・入浴
	（棟活動・行事・係活動など）
17:20	配ぜん・夕食
	歯磨き
18:30	自習時間
19:00	自由時間
20:00	消灯（プレイルーム）
21:00	小・中学部生就寝
22:00	高等部生就寝

全体活動としては、スタートの会、まとめの会、レクの日、クリスマス会、避難訓練、保健講座、食事講習会などがあります。

レクの日



クリスマス会



まとめの会

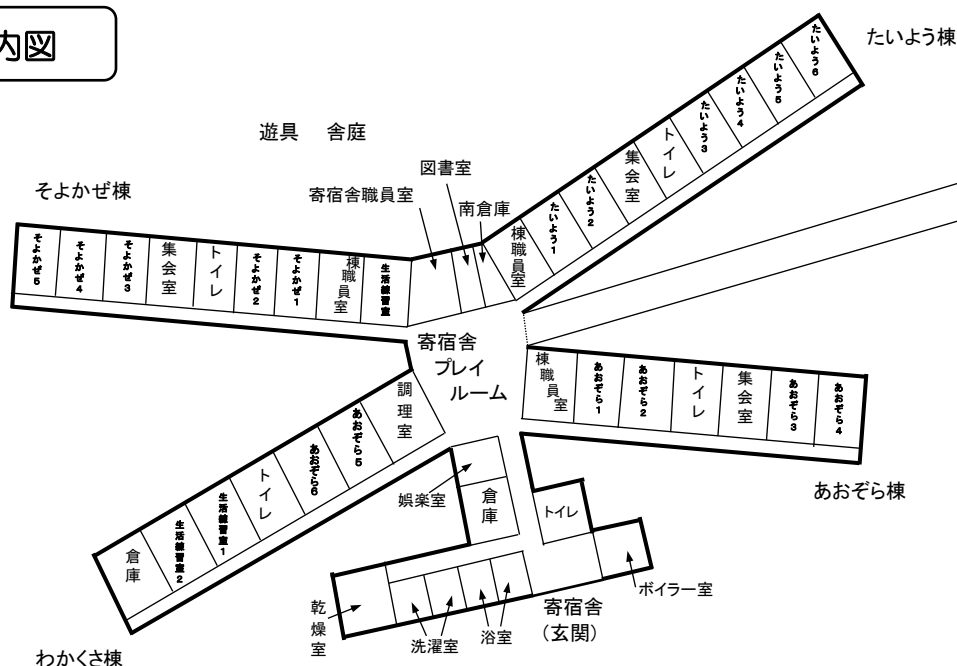


全体活動としては、スタートの会、まとめの会、レクの日、クリスマス会、避難訓練、保健講座、食事講習会などがあります。

※ 寄宿舍の1日の生活の様子を再現した動画が、QRコードを読み込んで頂きますと視聴できます。



寄宿舍案内図



・ 寄宿舍の一部紹介



寄宿舍玄関

週始め（帰舎日）は 8 時に解錠します。防犯上の観点から 17 時に施錠をします。登下校は寄宿舍玄関から行っています。



舎室

布団や衣類、通学用のカバンを収納するスペースがあります。今年度は一部屋 1 ～ 3 名で生活しています。



プレイルーム

余暇時間にテレビを観たり、話をしたりするための場所です。17 時以降の帰省や帰舎については、PR 渡り廊下入り口からお願いしています。



浴室

最大 4 名分のシャワーがあります。毎日入浴支援を行っています。実態に合わせて支援を行っています。

・ 保護者の声 （ R6 年度退舎生の保護者様より ※一部抜粋 ）

・ 子供から大人へと大きく変化するこの学校生活に寄宿舍を利用させてもらい大変感謝しております。当初は寄宿舍を利用することに対して、ひとりで洗濯を行えるかどうかや、朝しっかり起きられるかなど、不安なことだけでしたが、先生方のご指導によりひとりで色々出来るようになり、ひと周り大きく成長したことを感じました。

・ 集団生活を通して食事・洗濯・入浴・清掃・就寝などの基本的な生活習慣を身につけ、家でも得意気にお手伝いをする姿が見られる様になりました。行事やレクリエーションなどで、友だちとの交流の仕方・距離のとり方など社会性も身に付いたと思います。親も子も時には寂しい時もありましたが、貴重な 3 年間でした。

・ もっと家で身につけなければいけないことが、あったんじゃないだろうか、そんな気持ちも当初はありました。でも、徐々にできることが増えていき、週末は得意げにやって見せる息子の姿がありました。先生方が日々細やかな配慮と、一部でも自分でできるように工夫してくださったおかげ、その積み重ねのおかげと本当に感謝の気持ちでいっぱいです。学校から帰った後も友だちと一緒に過ごし笑い合っって遊び、マナーを覚えることなどは、家族だけではできない、かけがえのない時間だったと思います。充実した時間をありがとうございました。